

連句の世界をテーマに会場も一体で進められた公開講座「俳句と連句」4号館講座



完成した歌仙

月光を一つ一つに蟹の泡 有馬朗人  
 べんがらの間に蚊遣り焚く頃石田寛人  
 古のうたのすさびを今にして川口順啓  
 漆の肌にするむひととき 小池田薫  
 少年は金の兎があるとといふ 復本一郎  
 玻璃に近づき秋を覗ける 柳澤良一  
 蕨紅葉宇都谷峠 吉右衛門  
 はるばる流れ行く雲を見る 寛  
 こころとコンベイトが戯れて 朗  
 微笑みつつくし歌留多読むひと 順  
 藤壺に母の面影探るて  
 湖月抄をば三たび纏く  
 お地蔵に狸化けたり望の夜  
 旅立ちの日にコスモスの揺れ  
 駅頭に並び初めたる赤い羽根  
 あるとはなしに指輪の目立つ  
 散る花の触れしは誰の袖ならむ  
 雪形消ゆる遠山の峰  
 寛 朗 良 一 薫 順 一 良 順

# 即興の合作に知的な妙味

## 有馬元文相ら歌仙巻く

### 文学部公開講座「俳句と連句」

金沢学院大学文学部の公開講座シンポジウム「俳句と連句」は七月三日、4号館講堂で開かれ、学生、一般聴講者ら約三百人が、俳句、連句など日本特有の短詩形文学の魅力を掘り下げました。また、パネリストが聴講者と合作で、季節や月、花などを定位置で詠み込んだ連句を三十六句で完成させる「歌仙を巻く」も行われ、「座」の力が生み出す知的な妙味に触れました。

シンポジウムでは、有馬朗人元文相・元東京大学総長、川口順啓J.R東海生涯学習財団顧問（金沢市出身）、復本一郎神奈川大学教授、金沢市在住の詩人小池田薫さん、金沢学院大学の石田寛人学長、柳澤良一文学部長がパネリストを務めました。講演で有馬氏は、座を同じくする人が共同で創作する「連衆の合作」が日本特有の文学であることを解説しました。復本氏は俳人松尾芭蕉が

春風にまかす吉凶神の国 良  
 鞆高く跳ねあがるとき 順  
 マンションの庭の一隅蝶生まる 良  
 てのひら熟れる青き果物 薫  
 美しき女教師に追ひすがりをり 寛  
 波も越ゆるか末の松山 朗  
 初時雨木の葉動きて身顛ひす 順  
 萬歳楽を熱くするべし 良  
 携帯とパソコンとは縁もなく 朗  
 古里は百万石の月明り 順  
 秋の夜長は 連の音 後藤長平  
 どうしようかぼちやの馬車が通りすぎ 石田裕美  
 白井清一郎 後藤長平  
 絵本を指して子らが尋ねる 清水一興  
 横町に人の声する春の雪 白井清一郎  
 ゆらりゆらりと芽は顔を出す 丹羽千枝子  
 羽音と花ひららの空あふく 順  
 老いも若きもみな日永なる 薫

一面では俳諧（連句）の達人であつたと紹介しました。川口氏は制約にとられない雑の句にも魅

## 学生に起業への挑戦促す

### 学院大 アントレプレナーセミナー

学生に起業に対する認識を深めてもらう「アントレプレナーセミナー」は六月二十九日、四号館講堂で開かれま



講師の森英一朗氏（右）と家本賢太郎氏

力があると強調しました。連句に初挑戦した小池田さんは、書き手の個性を打ち出す現代詩と、座で個性を作る連句を比較しました。

### 石田学長が日本科学未来館総館長に就任

石田寛人金沢学院大学・金沢学院短期大学学長は七月一日、東京・お台場にある日本科学未来館の総館長（非常勤）に就任しました。同館館長は宇宙飛行士の毛利衛さんが務めています。

学生に起業に対する認識を深めてもらう「アントレプレナーセミナー」は六月二十九日、四号館講堂で開かれました。情報サイト運営のピートオール代表森英一朗氏と、レンタルサーバーサービス会社クラオンライン代表の家本賢太郎氏が「やる気があれば、起業家への道」をテーマに、講演とパネル討論を行いました。元ロツカーの森氏は、極貧生活から起業までの努力の跡を紹介して、「ビジネスに成功するにはまず健康と体力、そして発想力が大切」と述べました。家本氏は、闘病と車椅子の生活を経て企業経営に至る経験を語り、「気づかない人生の選択肢はもっともつとある」と、学生に可能性への挑戦を促しました。

## バド、卓球など優勝

北陸三県私立短大会 第三十八回北陸三県私立短期大学体育大会は六月二十五、二十六日、富山県総合運動公園・総合体育センターなどを会場に行われ、金沢学院短期大学の選手七十三人が全八競技に参加しました。主な成績は、バドミントン



個人戦優勝の卓球（左）と団体・個人優勝のバドミントン（右）の選手たち

の個人シングルスで牧島亜季奈さんが連覇し、同団体とダブルスでも優勝しました。卓球も個人ダブルスで優勝、準優勝を果たしました。弓道とバスケットボールは2位、バレーボールとソフトテニス団体・個人弓道の個人はいずれも3位でした。テニス、ソフトボール、卓球団体は惜しくも1回戦で敗退しました。

発行・広報室